

1. 令和7年度 多摩府中保健所の取組

労働衛生週間説明会における講演

開催日：令和7年9月4日、主催者：労働基準監督署

対象者：一般企業の労働衛生担当者等、参加者：63名

目的：職域における日頃からの健康意識向上を目的とし、3つの内容で講義

● 毎日を元気で過ごすために～こころの健康について～

- ・メンタルヘルス不調が起こる仕組みの説明
- ・職場全体のメンタルヘルスを保つことができるようなセルフケアや環境整備等の取組を紹介

● 栄養・食生活について

- ・働く世代の都民の栄養課題 ・栄養バランスの取れた食事
- ・栄養成分表示を活用した健康づくり ・健康的な食事の食べ方
- ・「からだ気くばりメニュー店」「“ちゃんとごはん”動画」などを紹介

● 受動喫煙防止対策について

- ・管理権限者の責務
- ・喫煙及び受動喫煙による健康被害等
- ・保健所に寄せられる苦情内容

【アンケート結果】

(感想)

- ・「こころの健康を保つため、職場での教育・啓発に取り組み、セルフケアのセミナー等も今後考えたい」
 - ・「からだ気くばりメニュー店、元気をつくるお食事ガイドをはじめて知ったので、従業員に紹介できるものか詳しく見てみたい」など
- (職場の健康課題)
- ・①「メンタルヘルス」②「生活習慣病」③「熱中症対策」の順



健康づくりに係る企業支援についての検討

- ・「健康企業宣言*」を実施する商工会議所に対して、取組のポイントや、継続する上での課題等をヒアリングするとともに、「健康企業宣言」事業の実施者である全国健康保険協会に対しても事業の普及活動をヒアリング
- ▶ 企業自らが率先して行う「健康づくり」に対して、保健所の連携方法等を検討

*健康企業宣言…企業全体で従業員の健康づくりに取り組むことを宣言することいい、実施団体は、全国健康保険協会（協会けんぽ）東京支部、健康保険組合

健康づくりに係る各種普及啓発の実施

- ・商工会議所及び商工会と連携し、「からだ気くばりメニュー店」のリーフレットを配布等
- ・労働衛生週間説明会で、がん検診や自殺対策のリーフレット等の啓発グッズを配布



2. 令和7年度の各市の取組

	武蔵野市	三鷹市	府中市	調布市	小金井市	狛江市	
令和7年度の取組	市民向けの取組	<ul style="list-style-type: none"> ・関連団体と連携した「むさしの食育フェスタ」で講座や調理実習を実施 ・クーリングシェルターを民間施設へ拡充し、熱中症予防啓発物を配布 	<ul style="list-style-type: none"> ・熱中症対策について、民間施設5施設と「指定暑熱避難施設に係る協定書」を締結し、クーリングスポット及びクーリングシェルターの設置を拡大 	<ul style="list-style-type: none"> ・生命保険会社と連携し、顧客訪問時にチラシ配布。また、地域包括支援センターで開催した体力測定会でベジチェックを実施 ・市内大学で食生活相談会を開催 ・市内企業でやさいどりPOPを掲出 ・民間施設でもクーリングシェルター及びクーリングスポットを開設。また、熱中症予防の啓発物を配布 	<ul style="list-style-type: none"> 【健康づくり、食育関連】 ・企業等から講師派遣を受け、出前講座を実施 ・世界禁煙デーに生命保険会社と連携した駅周辺キャンペーンの展開 ・知的/発達障害のある方を対象としたサッカースクールを企業と連携して実施 ・弁当・総菜販売業者と連携した食育セミナーの実施 【がん対策】 ・市民スポーツまつりでのピンクリボンキャンペーン実施（企業との連携によりクイズや疑似体験、啓発グッズ配布） ・企業との連携によるがん患者サポート相談事業、市内中学生向けのがん教育 ・職域団体の講師により「治療と仕事の両立支援セミナー」を開催 ・ピンクリボン月間に複数の市内企業でポスター掲示、サインージ動画放映、ライトアップ等の普及啓発の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・生命保険会社と連携し、健康講演会を開催 ・NPO法人与連携し、ポータルウォーキング教室を実施 ・企業との連携による涼み処事業の周知 ・企業との連携により熱中症講座を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・企業との連携によるウォーキングイベントで、健康チェックブースを設置 ・企業との連携による熱中症予防イベントを実施
	企業向けの取組	<ul style="list-style-type: none"> ・健康づくりに係る出前講座、研修 ・小規模事業者等を対象とした健康診断を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・市内企業等に対する健康づくりに関する出前講座を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・市内企業で隔月で健康情報を配信 ・シルバー人材センターの会議で介護予防体操の出前講座を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・企業との連携によるがん患者サポート相談事業、市内中学生向けのがん教育 ・職域団体の講師により「治療と仕事の両立支援セミナー」を開催 ・ピンクリボン月間に複数の市内企業でポスター掲示、サインージ動画放映、ライトアップ等の普及啓発の実施 	-	-
	商工会との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・商工会館で、メンタルヘルスのリーフレットや熱中症対策チラシを配布 	<ul style="list-style-type: none"> ・商工会ニュースに健康づくりに関する出前講座のチラシを同封 ・勤労福祉サービスセンターの会報に、健康づくりに関する出前講座の記事を掲載 	<ul style="list-style-type: none"> ・商工会議所ニュース及びメールマガジンにおいて、健康コラムや健康講座の案内等を掲載 	<ul style="list-style-type: none"> 【メンタルヘルス対策】 ・職能団体の講師により支援者及び市民向けのこころの健康講演会を開催 【熱中症対策】 ・企業から啓発用グッズの提供を受け、市内企業に配架 	-	<ul style="list-style-type: none"> ・健康診断書類配布時に、自殺防止の啓発チラシを同封
効果的だった取組	-	<ul style="list-style-type: none"> ・出前講座で職域に出向くことで、これまでと異なる層にアプローチできた 	<ul style="list-style-type: none"> ・大学や企業と連携することで、市と関わりが少い方への啓発が可能になった ・クーリングシェルターに民間施設を加え、利用場所が増え、アクセシビリティが向上し、熱中症リスクの低減に寄与できた 	<ul style="list-style-type: none"> ・企業の効果的な広報スキルや市民の目に留まる工夫などを取り入れた普及啓発を行うことができた ・企業等から講師を派遣することで、より専門的で市民ニーズにあった事業を実施できた 	<ul style="list-style-type: none"> 涼み処事業でのぼり旗を設置したことにより、住民への周知が進んだ 	-	
今後の課題	職域層の健康課題の把握	<ul style="list-style-type: none"> ・健診データ等の分析と事業への活用 ・出前講座の参加者の拡充を図るための効果的な周知方法等を検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・健診データ等の把握、分析 ・先方の人事異動等に伴う事業継続の難しさ ・職域層のライフスタイルに合わせた情報提供 	<ul style="list-style-type: none"> ・健診データ等の把握、分析 ・市の事業目的と企業が実施したい内容に差異があることが多く、調整に時間がかかることがある ・公的事業の中で、企業が得意な新たな内容を取り入れる調整が難しい 	職域層の健康課題の把握	職域層の健康課題の把握	

▶ 企業等と連携した市民向けの健康づくりや食育に係る普及啓発は充実している一方、職域層の健康課題の把握を課題とする市が多い。

今後の取組

- これまでの取組を継続するとともに、職域層の健康づくりを支援する取組を充実させていく。
- 各市と連携しながら職域層の健康課題の把握について、検討する。